

# 2023年度 第1四半期 決算説明資料

2023年8月4日

リンナイ株式会社

**Rinnai**

# 2023年度 第1四半期 連結決算要点

**売上高** : **898.5億円** (前期比:▲5.4%)

主要国における住宅市況の悪化により減収

**営業利益** : **31.1億円** (前期比:▲69.1% 利益率:3.5%)

原材料価格の高止まりに加え、生産調整により固定費負担が増加

**経常利益** : **58.9億円** (前期比:▲48.4% 利益率:6.6%)

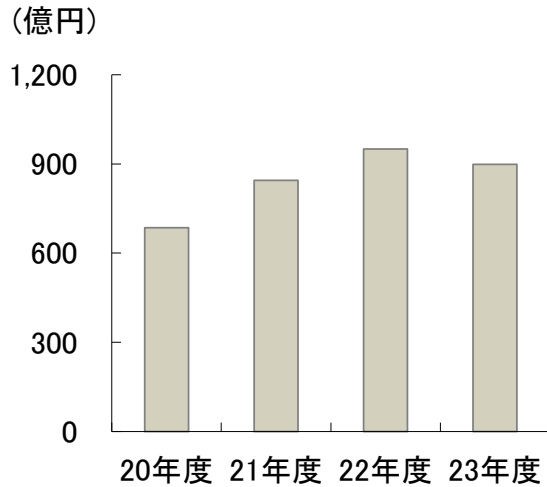
親会社株主に帰属する

**四半期純利益** : **32.8億円** (前期比:▲53.1% 利益率:3.7%)

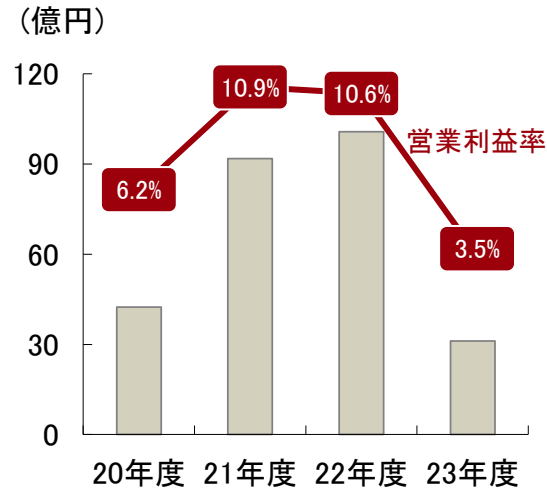
■物価上昇・金融引き締めにより市況が悪化するなか、売上・利益ともに厳しいスタート

# 連結業績推移(第1四半期)

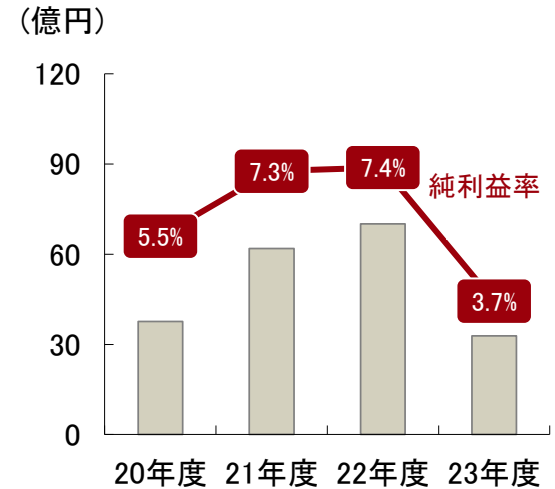
## 売上高



## 営業利益



## 親会社株主に帰属する 四半期純利益



■ 厳しい市況環境により、売上・営業利益ともに3期ぶりの減収・減益

# 2023年度 第1四半期 機器別売上高の内訳

[単位: 億円]

機器別	2022年度		2023年度		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
給湯	555.6	58.5%	537.2	59.8%	△18.4	△3.3%
厨房	221.6	23.3%	203.3	22.6%	△18.3	△8.3%
空調	35.4	3.7%	35.8	4.0%	+0.4	+1.2%
業用	24.2	2.6%	25.0	2.8%	+0.7	+3.2%
その他	113.0	11.9%	97.0	10.8%	△16.0	△14.2%
合計	950.0	100.0%	898.5	100.0%	△51.5	△5.4%

# 2023年度 第1四半期 連結損益実績内訳

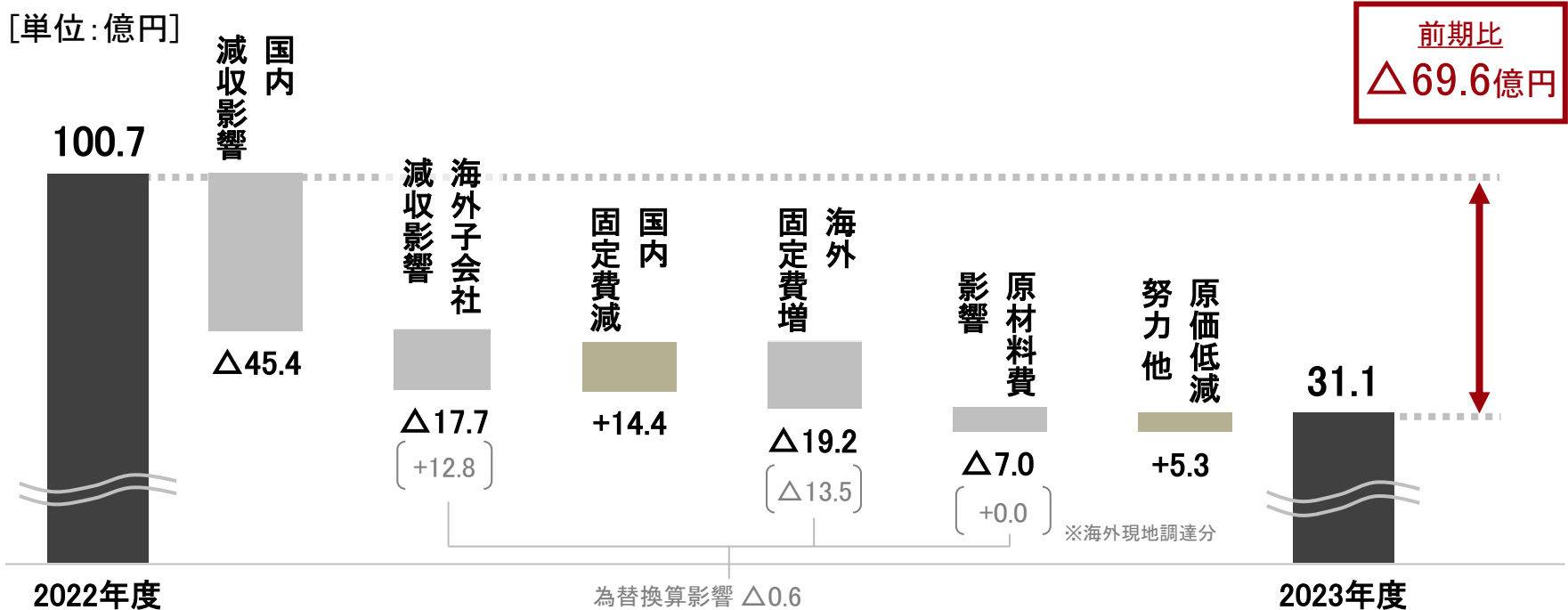
[単位: 億円]	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
連結	898.5	△5.4%	31.1	△69.1%	3.5%	△7.1pt



	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
リンナイ	461.7	△18.9%	16.0	△70.6%	3.5%	△6.1pt
国内関連	228.8	△14.8%	△0.0	—	△0.0%	△3.5pt
海外関連	489.0	△5.1%	5.4	△86.5%	1.1%	△6.7pt
合計	1179.6	△12.8%	21.4	△79.4%	1.8%	△5.9pt

# 2023年度 第1四半期 連結営業利益分析

[単位:億円]



世界的な景況悪化による販売減に加え、生産調整により大幅な減益

# リンナイ単体 2023年度 第1四半期 実績

- 国内住宅市況の悪化に加え、海外現地への生産移管により、減収
- 原材料価格等の調達コストの高止まりに加え、足元の需要減退に対し  
生産調整を実施



ビルトインコンロ



ハイブリッド給湯器



ガス衣類乾燥機



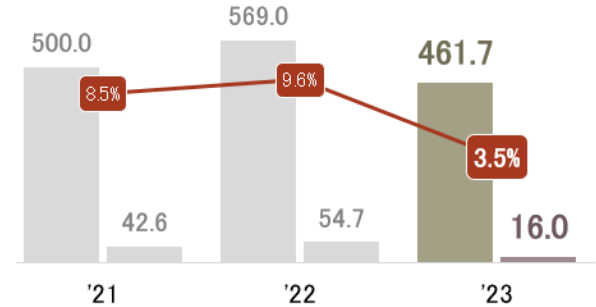
食器洗い乾燥機

(億円)

	2022年度	2023年度	前期比増減率
売上高	569.0	461.7	△18.9%
営業利益	54.7	16.0	△70.6%
営業利益率	9.6%	3.5%	△6.2pt

リンナイ単体 第1四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数:国内)

	前期比増減率
給湯暖房機	△0.1%
ふろ給湯器	△33.9%
ビルトインコンロ	△6.2%
ガス衣類乾燥機	△37.7%

# リンナイ単体 トピック ガス衣類乾燥機

累計販売台数  
100万台を突破！

ガス衣類乾燥機 乾太くん デラックスタイプをフルモデルチェンジ(2023年7月12日発売)



乾太くん 希望小売価格(税抜):6kg 18.7万円～ 9kg 21.9万円～

## ■ 大容量9kgモデルをラインアップ

- ・大容量9kgをラインアップに加え、  
多様なニーズに対応



## ■ 6kgの衣類を約60分で乾燥

- ・ガスのパワーを活かし、衣類をスピード乾燥。家事時間の大幅短縮に貢献

乾燥時間の比較

乾太くん 6kg 約60分 ← 5kg 約52分 / 9kg 約90分

電気ヒートポンプ式  
全自動洗濯乾燥機 約185分

電気ヒーター式  
全自動洗濯乾燥機 約312分

## ■ 機能的なデザイン

- ・機能的かつ質感にこだわった操作パネル
- ・設置方法の多様化に合わせ、  
上部操作パネル仕様をラインアップ





# リンナイ単体トピック ハイブリッド給湯器

## ハイブリッド給湯器“エコワン”の集合住宅専用モデル・プラグインモデルの発売

■省エネ・コンパクトを両立したX5モデルのバリエーション充実

■政策の後押しを受け、普及拡大

住宅タイプ	エコワン機種
新築戸建	省エネ重視: 160Lタイプ(販売中) コスト重視: 70LX5(販売中)
新築集合	マンションZEH対応: 集合住宅専用モデル  9月1日発売
既築住宅	簡易施工: プラグイン モデル  9月8日発売



### 政策内容

23年度	 <p>給湯省エネ事業対象 リンナイのエコワンなら</p> <p>補助金 5万円</p> <p>給湯省エネ事業</p>	 <p>新築 100万円 リフォーム 上限30万円</p> <p>こどもエコすまいる 支援事業</p>
将来	<p>機器メーカーに対し、目標年までに以下の対象機器の一定の比率の達成を求める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディマンドレスポンス対応</li> <li>・非化石エネルギー対応</li> </ul> 	

再エネ電力の最大限の有効活用にエコワンが貢献

# リンナイアメリカ 2023年度 第1四半期 実績

- 住宅市況の悪化により、タンクレス給湯器市場の成長が減速
- グリフィン工場での減産調整に加え、運送費や在庫増による物流コストも増加し、営業赤字



タンクレスガス給湯器



高効率ガス給湯器

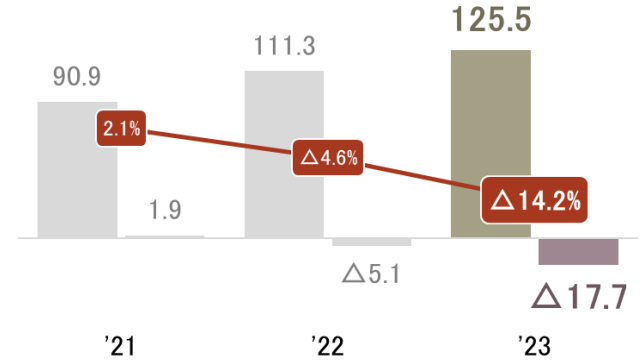


高効率ボイラー

(億円)	2022年度	2023年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	111.3	125.5	+12.8%	△0.9%
営業利益	△5.1	△17.7	-	-
営業利益率	△4.6%	△14.2%	-	-

リンナイアメリカ 第1四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 -●-:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数)

前期比増減率

タンクレス給湯器

△5.8%

内)高効率タイプ

△23.3%

# 上海林内 2023年度 第1四半期 実績

- 消費マインドの低下や流通在庫の調整により減収
- ゼロコロナ政策解除後の新型コロナウイルス感染症の感染急拡大により、第一四半期は低調なスタート



給湯器



ビルトインコンロ



レンジフード



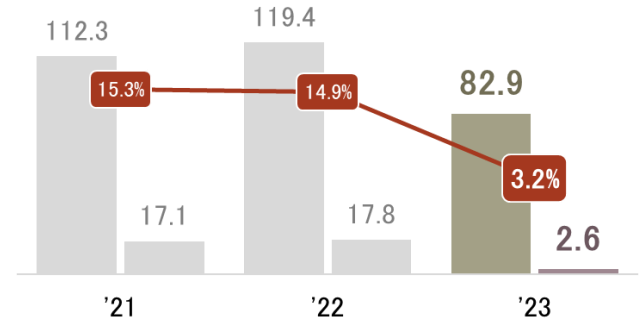
ボイラー

(億円)

	2022年度	2023年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	119.4	82.9	△30.5%	△33.7%
営業利益	17.8	2.6	△85.3%	△85.9%
営業利益率	14.9%	3.2%	△11.7pt	

上海林内 第1四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数)

	前期比増減率
給湯器	△33.3%
ビルトインコンロ	△45.7%
レンジフード	△1.1%
ボイラー	△38.3%

# リンナイオーストラリア 2023年度 第1四半期 実績

- 主力のガスタンクレス給湯器販売が伸長したことに加え、電気タンク式給湯器やヒートポンプ給湯器の販売が増加
- 高付加価値商品を中心とした販売の増加により増益



タンクレス給湯器



電気タンク式給湯器

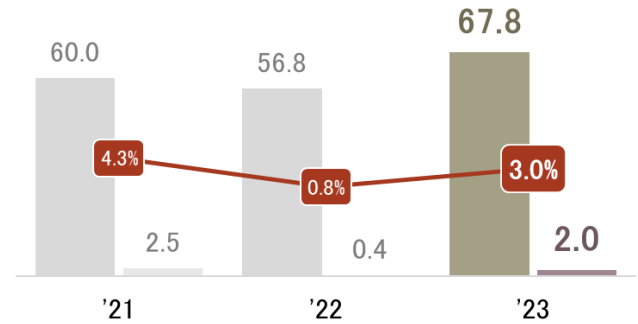


ダクト式冷暖房システム

(億円)	2022年度	2023年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	56.8	67.8	+19.4%	+11.5%
営業利益	0.4	2.0	+350.6%	+320.9%
営業利益率	0.8%	3.0%	+2.2pt	

## リンナイオーストラリア 第1四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数)

前期比増減率

タンクレス給湯器	+13.7%
電気タンク式給湯器	+15.0%
ダクト式冷暖房システム	△1.0%

# リンナイ코리아 2023年度 第1四半期 実績

- 物価や金利上昇による景況感の悪化で、主力商品の販売が減少
- 経費削減も販売減少により減益



親環境ボイラー



ガスコンロ

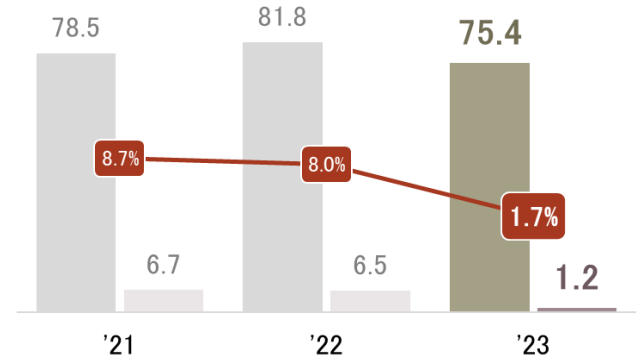


電気コンロ

(億円)	2022年度	2023年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	81.8	75.4	△7.8%	△14.0%
営業利益	6.5	1.2	△80.5%	△81.8%
営業利益率	8.0%	1.7%	△6.3pt	

## リンナイ코리아 第1四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数)

前期比増減率

ボイラー	△13.6%
ガスコンロ	△21.5%
電気コンロ	△22.0%

# リンナイインドネシア 2023年度 第1四半期 実績

- 物価上昇による個人消費の低迷でテーブルコンロ市場が縮小
- 原価低減等の経営改善やビルトイン商材の需要に加え、  
原材料価格の一服感により、利益率は改善



テーブルコンロ



ビルトインコンロ

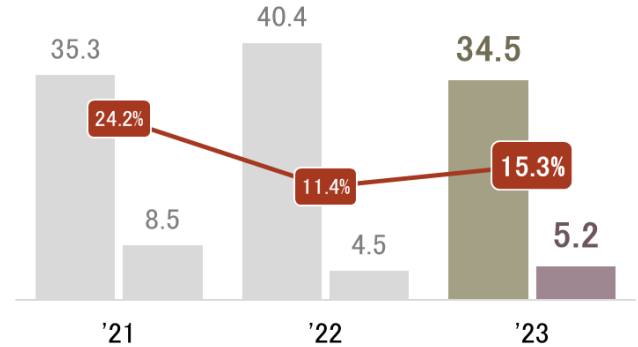


レンジフード

(億円)	2022年度	2023年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	40.4	34.5	△14.4%	△19.8%
営業利益	4.5	5.2	+15.3%	+8.1%
営業利益率	11.4%	15.3%	+3.9pt	

リンナイインドネシア 第1四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数)

前期比増減率

テーブルコンロ

△26.1%

ビルトインコンロ

△3.5%

レンジフード

+2.9%

# 第1四半期実績と第2四半期以降の見通し

## 第1四半期 実績

日本・アメリカ・中国の主要国で市況が悪化。固定費吸収が追い付かず、大幅減益。

- 日本… 原材料価格等の調達コストの高止まりに加え、昨年につき、2回目の値上げを実施  
需要の鈍化による減産調整に加え、アメリカへの現地生産移管により、輸出が減少
- 海外… **アメリカ**/住宅市況悪化により減速。高効率タイプの販売が低迷。在庫増による保管費用等で追加経費が発生  
**中国**/年末年始にかけ、コロナ感染の拡大による景況感が悪化。買い控えやダウングレードが発生  
**オーストラリア**/タンクレス給湯器の販売が伸長。輸送費の見直しなど経費削減も実施し、増収増益基調  
**韓国**/金利上昇による住宅市況の悪化。競合他社との価格競争が激化

## 第2四半期以降 見通し

日本、中国で市況は好転の見通し。

下期にかけ、新製品効果や原価低減活動により、期初計画より利益改善を進める。

- 日本… 需要期に向け、市況回復に手応え。高効率給湯器やガス衣類乾燥機などの新商品効果や値上げの浸透により、利益は回復の見込み。
- 海外… **アメリカ**/引続き厳しい住宅市況を見込むも、販促強化を計画。  
**中国**/オンラインだけでなくECサイトの実店舗販売が好調で回復基調。高付加価値給湯器への切替も進む見通し。  
**オーストラリア**/タンクレス給湯器が引き続き好調。電気タンク式給湯器やヒートポンプ給湯器等の電化製品も伸長。  
**韓国**/引続く厳しい住宅市況のなか、経費の徹底管理で利益確保を見込む。

# 2023年度 連結業績予想

上期	[単位:億円]		期初発表 予想(A)	8/4発表 予想(B)	増減額 (B)-(A)	増減率	前期実績
売上高			1900	1900	—	—	1943
営業利益			150	100	▲50	▲33.3%	190
経常利益			165	140	▲25	▲15.2%	222
親会社株主に帰属する 四半期純利益			95	75	▲20	▲21.1%	133

通期	[単位:億円]		期初発表 予想(A)	8/4発表 予想(B)	増減額 (B)-(A)	増減率	前期実績
売上高			4400	4400	—	—	4252
営業利益			430	390	▲40	▲9.3%	414
経常利益			460	440	▲20	▲4.3%	445
親会社株主に帰属する 当期純利益			265	250	▲15	▲5.7%	260



# ESG トピック

## サプライヤー調査の実施・公開

昨年11月にリンナイ人権方針策定・公表

### 紛争鉱物

武装勢力への資金供給となる鉱物を使用していないこと

### CSRアンケート

サプライヤーの「人権」「雇用」「労働条件」等の調査

サプライヤー173社にアンケート実施(3月)

回収・分析し、問題ないことをHP公開(5月)

## 社員持株会RSの実施

福利厚生拡充と株主目線獲得のため、譲渡制限付株式(RS)を付与

付与対象者	3,187名
付与金額	約 20万円
譲渡制限期間	約 3 年間
付与日	4月28日

### 持株会加入率

導入前

51%

導入後

85%

## 社外取締役比率の向上

監督機能・経営方針策定機能の強化・多様性の確保

2021年

29%

2022年

40%

2023年

44%

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。